

安全衛生委員会議事録（第2回）

日 時	令和8年5月20日（水） 午後1時30分～午後2時30分	
場 所	シルバー人材センター会議室	
出席者	委員長	信田光隆（事務所長）
	委員	村瀬敏之（産業医） 埴原久美子（派遣会員）、大塚みさ子（派遣会員） 江口正美（派遣会員）、富田泰弘（衛生管理者） 泉康太（主任）
議事・報告	<p><b>1 あいさつ</b> 今週から暑さが増してきているため、熱中症には注意してほしい。 1か月半ぶりに新型コロナウイルス感染症が確認された。 インフルエンザは週に1人確認されている。 花粉症はピークを過ぎたが、風邪が流行しているため注意してほしい。</p> <p><b>2 熱中症予防の新常識「暑熱順化」とは？</b> 熱中症リスク低減のため、5月頃から暑熱順化（体を暑さに慣れさせる）を意識し、適度な運動等を通して少しずつ汗をかく習慣をつけていただきたい。 併せて、基本的な熱中症対策（こまめな休憩、水分補給等）を怠らないよう過ごしていただきたい。</p> <p><b>3 高齢者の転倒リスクと予防策について</b> 加齢に伴い、身体機能（筋力、視力、聴力等）が衰えるにつれて、転倒のリスクは高くなる。 高齢者の転倒事故の内、約半数が住宅内で発生していることから、屋外に限らず転倒予防を講じることが重要となる。 自宅内の段差を解消することや、荷物は片手で持てる量にすることなど、少しの準備と意識を持ち、転倒リスクを軽減しながら過ごしていただきたい。</p> <p><b>4 その他 自転車安全講習会のご案内</b> 令和8年7月3日（金）午後1時30分から大府市役所地下会議室で開催する。</p>	
決定事項	今回の議事録をウェブサイトに掲載して広く会員に周知して、健康維持管理及び安全意識向上についての啓発をする。	
産業医指導	熱中症がいつ発症してもおかしくない暑さとなっている。 電動の乗り物を使う人が多いが、体力づくりのためウォーキングなど軽めの運動を習慣にしてほしい。 加齢により反射神経が悪くなり、意識と身体の反応にズレが生じ転倒リスクは高まる。歩行時は注意を払い歩行してほしい。	